

低線量肺がんCT検診について

日本人のがんによる死亡者数のうち、肺がんによる死亡者数は男性、女性ともに死亡者数は第1位になっています。都道府県ごとでは、香川県民の肺がんによる死亡数は全国第5位です。(独立行政法人国立がん研究センター2009年統計)。

肺がんの大きな発生原因として喫煙があります。男性で約68%、女性で約18%と推計されています(独立行政法人国立がん研究センター2006年統計)。また、肺がんが発生する可能性は1日の喫煙量と喫煙期間に比例して増大します。喫煙をやめることで肺の損傷は修復され、肺がんの発生可能性は減少します。煙の中にも発がん性物質が含まれます。その煙を吸うことにより口、喉、肺、唾液、また消化管から血液中への移行・排出経路となる血管、肝臓、腎臓、尿路などにもがんが発生する可能性が増加します。



早期肺がん(全日本民医連資料)

低線量肺がんCT検診の特徴として

- ①胸部X線検査では描出困難な小さい病変(数mm)、すりガラス状の淡い陰影などといった早期肺がんの所見も描出できます。
- ②良性・悪性の鑑別もできます。
- ③心臓や肋骨などといった他の臓器と重なっていても描出できます。
- ④肺がんの危険因子となる肺気腫、肺繊維症などの慢性疾患も診断可能です。
- ⑤被ばく線量も胸部CT検査と比較して4分の1以下です。

N T T 西日本高松診療所予防医療センターでは人間ドック、検診のオプションとして低線量肺がんCT検査を選択できます。費用は10,500円(税込)です。咳、痰などが続く方、家族にがん歴のある方、喫煙者、または同居人が喫煙者の方に特におすすめします。

